

相 続 会  
東 相 会  
関 断 士

# 「親子で寄席に行こう！笑顔相続落語」

## 家族で話し合うきっかけに

関東圏の志の高い相続診断士が結成した関東相続診断士会はこのほど、東京都中央区の日本橋公会堂で、敬老の日にならんで「親子で寄席に行こう！笑顔相続落語」を開いた。

相続診断協会の後援の下で開催された同イベントには子育てをしている世代と、その親の世代が一緒に参加し、笑顔相続

落語を楽しんだ後、相続診断士が結成した関東相続診断士会はこのほど、東京都中央区の日本橋公会堂で、敬老の日にならんで「親子で寄席に行こう！笑顔相続落語」を開いた。

相続診断協会の後援の下で開催された同イベントには子育てをしている世代と、その親の世代が一緒に参加し、笑顔相続

亡くなった父親の山田元三（元さん）とその子どもたちの相続をめぐる物語となっており、ひな太郎師匠は演出に趣向を凝らし、時事的な話題を盛り込みながら、巧みな話術で観客を落語の世界に引き込み、遺言書だけで

亡くなった父親の山田元三（元さん）とその子どもたちの相続をめぐる物語となっており、ひな太郎師匠は演出に趣向を凝らし、時事的な話題を盛り込みながら、巧みな話術で観客を落語の世界に引き込み、遺言書だけで

なく生前に親の思いを子どもたちに伝えることが大切だと説く。落語の後、ひな太郎師匠と専門家の掛け合いで相続について解説する。

なく生前に親の思いを子どもたちに伝えることが大切だと説く。落語の後、ひな太郎師匠と専門家の掛け合いで相続について解説する。

## 相続診断協会が後援



巧みな話術で観客を引き込む  
ひな太郎師匠

相続診断協会の小川実代表理事が、争う相続と笑顔相続の分岐点や相続対策の必要性について分かりやすく説明し、来場者に気づきを与えた。

来場者からは「生前に家族で話し合うことの大切さを理解した」「親子で自身の思いを子に伝えるために設けられた。」

え、相続について家族で話し合う良いきっかけになりそうだ」との声があった。

「教えることは学ぶこと」の精神で自身の利益は追求せず、ボランティアの精神で相続診断士の仲間と共に学ぶ姿勢のある人が参加資格を持つ。会の運営は相続診断協会とは独立して自主運営しており、地域で相続問題を解決していくために、毎月定例会を開催している。

関東相続診断士会は、栃木県相続診断士会、埼玉県相続診断士会、千葉県相続診断士会、東京都相続診断士会、神奈川県相続診断士会の総称。相続診断士会は地域の相続診断士が集まり、日本から争いをなくし、笑顔相続を広めるという相続診断協会の目的に賛同して、その目的達成に向けて情報交換や勉強会などを実施することによって自己研さんするために設立された。

相続診断協会は、1件でも多くの争う相続を減らして笑顔相続を普及するため、今後も相続診断士を通じて社会への啓発活動を展開していく方針だ。